

表 江西省のリチウム関連産業の特徴

トピック	詳細
豊富なリチウム埋蔵量	江西省宜春市の一酸化リチウムだけでも900万トンが埋蔵されている。
整備された産業システム	江西省には10月11日時点でリチウム電池企業が188社存在するほか、リチウム関連産業チェーンが最も完備されている省の1つとなっている。
リチウム関連の産業クラスター	江西省宜春市、新余市、贛州市にリチウム電池産業クラスターが形成されている。贛鋒鋳業、九江天賜高新材料、江西紫宸科技、孚能科技など、業界内で影響力を持つ企業も出現している。
一部分野での優位性	江西省はサプライチェーンの上流にあるリチウム塩および一部の電池材料分野で高い競争力を有している。特に、炭酸リチウムおよび水酸化リチウムの生産量は中国内で1位である上、リチウム塩の総生産量は全国の半数近くを占めている。
発展の継続	国軒高科（Gotion High-Tech）、寧徳時代新能源科技（CATL）、比亜迪（BYD）などのリチウム電池関連企業の100億元を超える規模のリチウム関連重大プロジェクトが江西省内に誘致されている。中国の動力電池企業上位10社のうち6社が江西省に進出している。江西省で1億元を超える規模のリチウム関連プロジェクトは100を超えている。これらを通じて、産業チェーンが持続的に整備され、発展性と持続性が絶えず増強されている。

（出所）10月11日の措置に関する記者会見を基にジェトロ作成